

2020年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	筒井 大祐
研究テーマ	『八幡愚童訓』の生成と展開に関する基礎的研究
研究概要	本研究は、日本文学をはじめ、宗教文化史や歴史学などの学問分野を超えて研究対象となっている、八幡信仰の基礎資料である『八幡愚童訓』のテキスト研究を行うものである。『八幡愚童訓』の関連資料や内容分析を通して、その生成と展開の解明を目的とする。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>本年度は、『八幡愚童訓』の展開を考察するために、中世の文学作品に見える八幡記事の検討を進めた。今年度までに、検討を進めた『八幡愚童訓』の展開に関する論考として、長門本『平家物語』に見える大隅正八幡宮縁起の依拠資料について論文化した。</p> <p>長門本『平家物語』の記事はこれまで、注釈書でも『八幡愚童訓』との関連で捉えられていたが、在地資料を用いた考察で、『八幡愚童訓』に収斂しない八幡縁起の影響を指摘した。</p> <p>この他に、『八幡愚童訓』の影響がみられる八幡縁起絵巻の一伝本である、熊本県藤崎八幡宮所蔵の絵巻物の下巻分の翻刻、紹介を行った。</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>①学術論文：「長門本『平家物語』と大隅正八幡宮縁起—六郷山縁起を視座として—」『佛教大学総合研究所紀要』第28号、pp. 1-16、佛教大学総合研究所（2021年3月、査読有）</p> <p>②資料紹介：「藤崎八幡宮細川家本八幡大菩薩御縁起 下巻—影印、翻刻—」『京都語文』第28号、pp. 5-28（黒田 彰 共著）佛教大学国語国文学会（2020年11月）</p>
3. 競争的資金等への応募と採択	<p>科学研究費（若手研究）「『八幡愚童訓』の生成と展開に関する基礎的研究」（2018年4月-2022年3月 採択中）</p>
4. 今後の課題	<p>これまで『八幡愚童訓』との関連で捉えられることが多かった中世の八幡記事について、それぞれの成立状況や依拠資料の解明を通して、『八幡愚童訓』へ収斂しない八幡関連記事の考察、検討も必要である。この作業を通して引き続き、研究課題である『八幡愚童訓』の生成と展開を考察したい。</p>